

自己評価シート

職員による自己評価

A環境面

・コロナ対策としての消毒や清掃を継続し、誰もが気持ちよく教室を使うことができた。人数配置やシフト、活動計画については概ね高い評価となっている。

B利用者への支援内容

・全スタッフで学習や余暇活動に関してニーズに合った支援を提供できている。
・カフェは一人ひとりがリラックスして過ごせる場になっている。

C関係機関との連携

・利用者によって、学校や他機関との連携を行っており、その情報を保護者と十分に共有できていると感じている。

D保護者への説明責任・信頼関係

・学習・余暇活動の様子を報告を行い、その際に要望や悩みなども聞くことで支援に活かしている。

E非常時対応

・個人情報の管理や虐待・アレルギーに関しては特に気を付けて支援している。
・避難方法の習得や避難場所の確認、必要な用具の準備など行っている。

保護者による評価

A環境面

・教室は整理整頓され、気持ちのよい環境になっていると概ね捉えられている。
・スタッフ数や他の利用者との関係は概ね配慮されていると感じている。

B利用者への支援内容

・学習・余暇活動ともに利用者や保護者のニーズに応える支援ができている。
・カフェでの様子が分かりにくいこともあり、良し悪しの評価ができない。

C関係機関との連携

・学校等関係機関との連携が十分できていると感じている保護者は少ない。

D事業所からの情報発信

・保護者面談では必要な話し合いができ、日々の活動後には十分な報告ができていると感じている。ホームページなどに対する認知度はあまり高くない。

E非常時対応

・緊急時対応訓練の内容等については、全ての保護者が理解している。
・お知らせはしているのだが、保険についての理解が低い。

事業所内での分析

【共通点】

- ・清潔で整った環境の中、スタッフや利用者の配置についても配慮がされている。
- ・学習・余暇ともにニーズに応えている支援が保護者にも受け入れられている。
- ・利用者とスタッフ間の面談や学習報告など、直接関わる支援はよくできている。
- ・安全に関する項目については、概ね評価が高かった。

【相違点】

- ・毎月のお知らせメールで保険についての紹介を行った。そのことで保護者の理解が進むと考えたのだが、思いのほか認知度が上がらず、評価は低かった。
- ・カフェ利用は飲食だけでなく、スタッフや他児との大切なコミュニケーションの場でもあると考えている。しかし、保護者からはあまり評価が高くない。
- ・機関連携対応が十分と考えるスタッフは多いが保護者からの評価はあまり高くない。

分析・検証してみた

事業所の強み

- ・利用者のニーズに合わせて活動内容を考え1対1の個別支援を行う。
- ・各学年、個性に対応できるスタッフがいて、それぞれの力を発揮することができる。
- ・カフェコーナーがあること。
- ・レクタス相談支援室があること。
- ・習字・パソコン・草花教室の充実
- ・自立通所ができる立地場所。

事業所の改善点

- ・保険については、メールでのお知らせでは周知できなかったため、他の方法を考える必要がある。
- ・カフェでの役割や活動内容が保護者へ伝わっていないと考える。伝える方法を考える必要がある。
- ・全ての利用者と学校や関係機関との連携は難しいが、必要な場合に連携できるようにしていきたい。

事業所の改善への取り組み

- ・保険についてのお知らせは、プリント等を使い利用者本人にも説明し、その上で保護者にも配布するようにして、周知を図りたい。
- ・カフェでは様々なスタッフに関わるため、そのスタッフが常に報告することは難しい。児発管がスタッフからの聞き取りを行うなどこまめに連携することで内容を保護者に伝えるようにしたい。
- ・学校や関係機関との連携の対応として、レクタス相談支援室の活用をはじめ、他の相談支援室の利用を勧めていくようにする。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

こちらからは十分に伝えつもりでも、思うように理解していただけないことがある。今回の評価で分かった保険についてはよい例である。それならば分かっていたかのように、次の方法を考える必要がある。これは、この保険に限ったことではない。事業所内で起こる全てのことに当てはまるのではないだろうか。改めて様々なことを振り返り、見直し、より良い支援を提供できるようにしていきたいと感じた。少しずつコロナの影響も薄れつつあるこれから、元に戻すというよりは、新しく作り上げるという気持ちで臨んでいきたい。

事業所名 レクタス放課後等デイサービス都筑ふれあいの丘教室

担当者 松田 いづみ